

げん かん さ りょうほう  
**減感作療法とは**  
〈アレルギーの原因療法〉

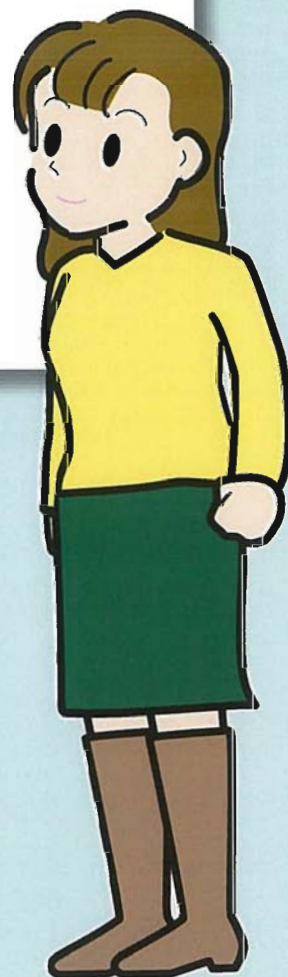
監修：日本医科大学 耳鼻咽喉科学  
教授 大久保 公裕



アレルギーでお困りの患者さんへ！  
減感作療法をご紹介します。  
ご一読のうえ、本療法についてご検討下さい。

## Contents

- アレルギーと呼ばれる病気は
- 減感作療法とは
- その他の治療法は・・・
- 花粉カレンダー





# アレルギーと呼ばれる病気は

## 喘息



アレルギー性鼻炎

アトピー性皮膚炎



＊これらの病気は、身のまわりにあるものが原因となって症状を起こす場合があります。

アレルギーの原因となって症状を起こす物質をアレルゲンといいます。それには、家の中のハウスダスト（室内塵）やダニ、スギやブタクサなどの花粉類、猫や犬などのペットの毛やふけ、牛乳、卵、大豆などの食品類があります。

ホコリ



花粉



ペットの毛やフケ



牛乳・卵・大豆



ダニ



# 減感作療法とは

＊症状をおこす物質（アレルゲン）を、低濃度から少しずつ注射し、患者さんの抵抗力を強くして症状を出にくくする治療法です。

＊注射は週1～2回で3ヶ月程度、次に2週に1回を数回、その後月1回の注射を続けます。

効果は、早ければ数ヶ月であらわれてきます。

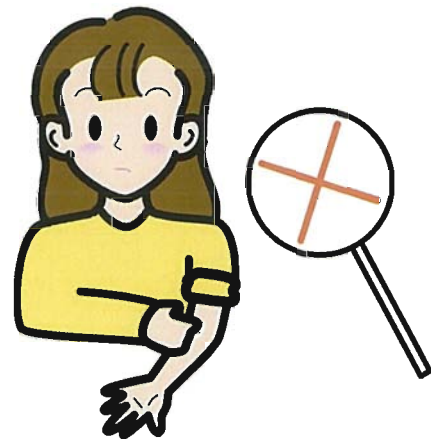
治療をはじめてから終了までには3年ほどかかります。

## 注射を受けた後の注意

### 注射のあとをあまり強くもまない

#### 理由

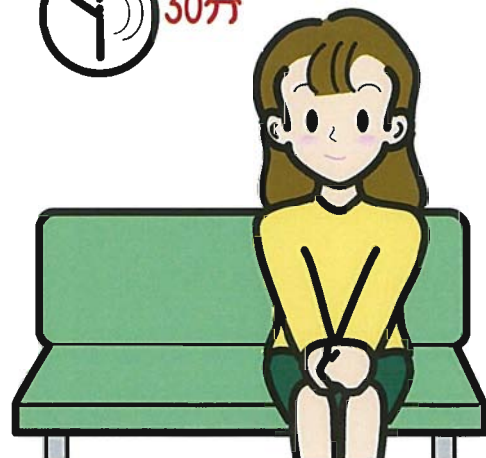
薬の吸収が早まり、強いアレルギー反応が出る可能性があります。



### 注射後30分ぐらいは安静に

#### 理由

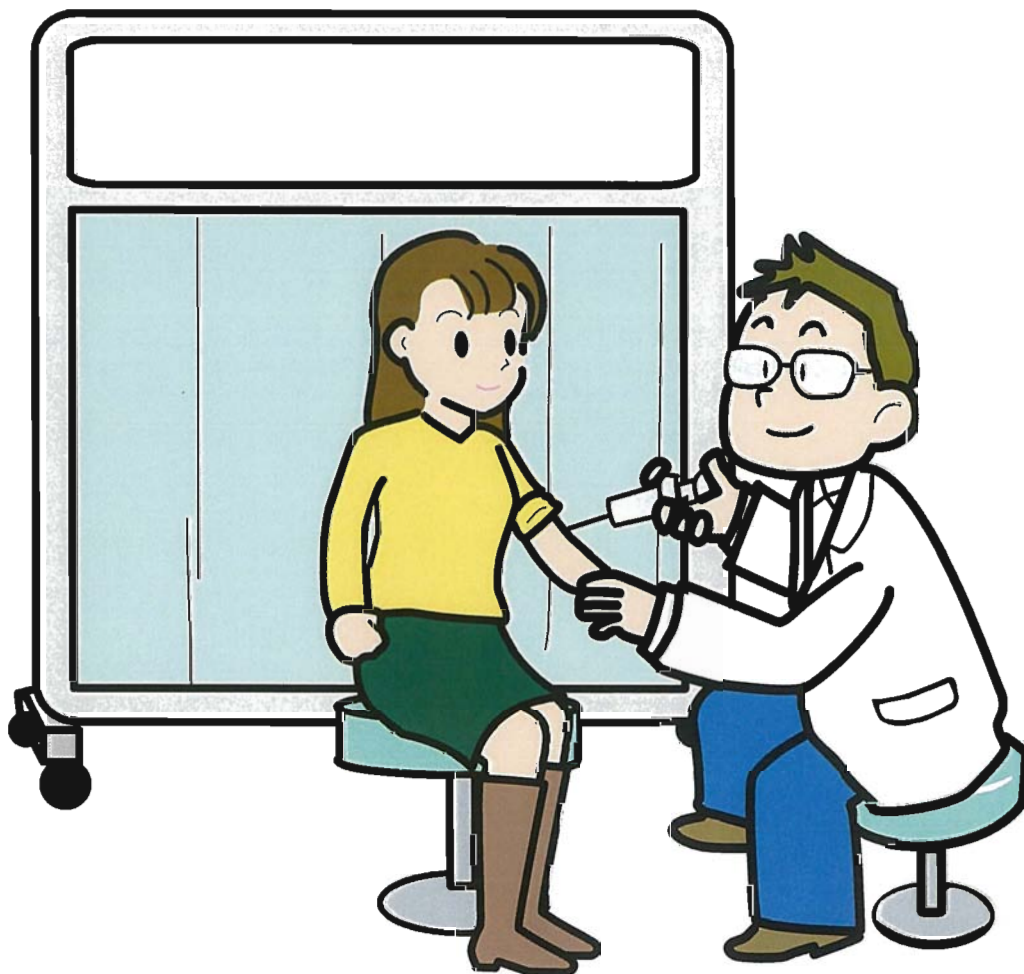
場合によって強いアレルギー反応のために、気分が悪くなったり息苦しくなったりして調子が悪くなることがあるからです。





\* 患者さんにとって、症状をおこす物質(アレルゲン)を注射しますので、注射したところが、「かゆい」、「あつい」、「硬くなっている」などと感じることがありますが、2~3日でほとんどなくなります。

\* この治療は根気がいりますが、患者さんがご自分の症状をよくするためにトライすれば、症状が軽くなったり少なくなったりすることが期待でき、少ない例ですが治る場合もあります。



# その他の治療法は・・・

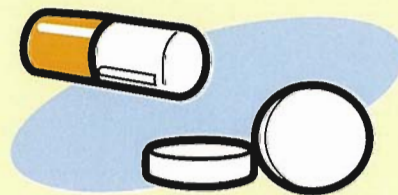
## 原因となる物質を除去したり避けること

アレルギーの治療で最も大切なことは、症状をおこす物質（アレルゲン）をなくしたり、それに近づかないことです。家の掃除をよくしたり、花粉が飛んでいる時期にはマスクやめがねをかけたりすれば、症状はずいぶん楽になります。



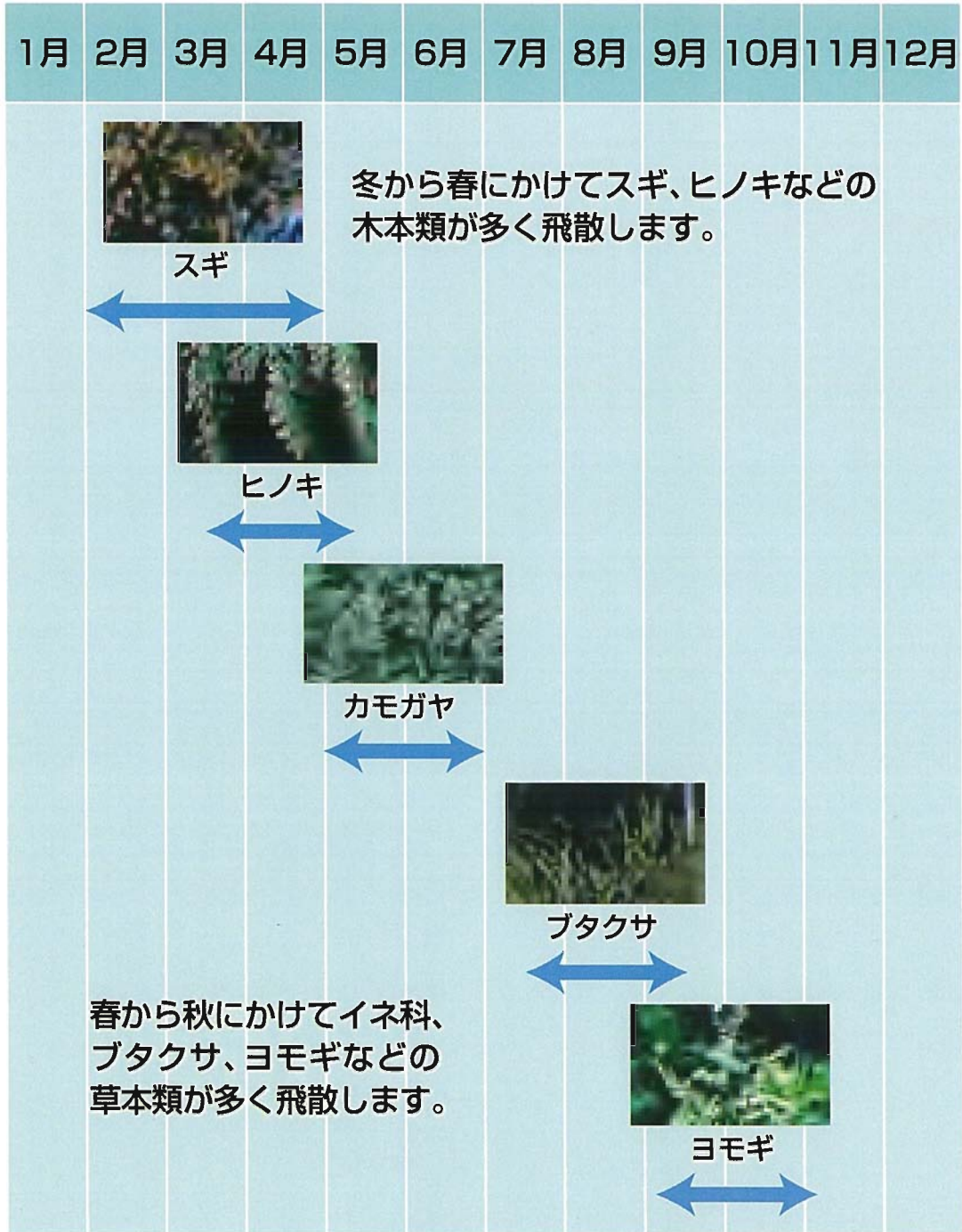
## 対症療法

症状により、苦痛を和らげるために、抗アレルギー薬や抗ヒスタミン薬、局所ステロイド薬などの対症薬が使われます。症状は一時的に良くなりますが、薬を止めるとまたあらわれます。





# 花粉カレンダー(関東周辺)



(写真提供：東邦大学理学部 訪問教授 佐橋 紀男先生)

病医院名